

● 病院概要

- 開設者名 新潟県厚生農業協同組合連合会 代表理事 田中 納次
- 病院長名 富所 隆
- 標榜診療科目

内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、血液内科、循環器内科、腫瘍内科、神経内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脊椎脊髄外科、リウマチ科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科、心療内科、放射線科、放射線治療科、臨床検査科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科

● 使用許可病床数	使用許可病床数	一日平均入院患者数
一般	500床	440人

- 一日平均外来患者数 1,684人
- 医師数 常勤 120人 非常勤 6.96人
- 年間手術件数 5,731件
- 年間出産件数 719件
- 病院併設施設 健診センター・看護専門学校・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所
- 救急告示病院の指定 有
- 学会指定施設の状況

日本内科学会、日本外科学会、日本循環器学会、日本泌尿器学会、日本産婦人科学会、日本眼科学会、日本麻酔科学会、日本脳神経外科学会、日本血液学会、日本糖尿病学会、日本消化器病学会他多数



◆ Access



- JR長岡駅下車バスで約10分
- 北陸自動車道長岡ICから約15分

照会先
総務課 和田・笠原・小林
TEL 0258-35-3700 (代表) FAX 0258-33-9596
E-mail kenshu-4@nagachu.jp

病院見学の受入・web面談 随時
申込方法
上記電話番号およびホームページから、当院の研修管理委員会事務局までお問合せください。
【宿泊可(個人負担2,000円)】

研修概要

研修プログラムの目的と特徴 (2022年度研修医)

- 研修の目標：「2年後には、病院を誰よりも上手に使いこなせるようになる」

診療における基本的能力を身につけ、プライマリ・ケアを行えるようになる。具体的には、救急外来での診療が支障なくおこなえるようになり、「終了後は小規模病院に勤務しても困らないレベルに到達できる」ことを目標としています。

【研修スケジュール】



必修科目

内科系：6領域(消化器、呼吸器、循環器、血液、内分泌・代謝、腎臓)を4～6週間ローテーション
総合診療科：8週間
外科系：小児科、産婦人科：4週間
救急：麻酔科4週、月2-3回の救急外来の日当直
神経系：神経内科、脳神経外科から選択
地域医療：地域のクリニック、三条総合病院、小千谷総合病院、見附市立病院、佐渡総合病院であわせて4週間
精神科：田宮病院、新潟県立精神医療センターで4週間

選択科目

2年日後半に30週間設定
内科系：内科必修6領域、神経内科、腫瘍内科、小児科、放射線科、精神科(新潟大学医学部総合病院)、総合診療科
外科系：外科、産婦人科、脳神経外科、整形外科、呼吸器外科、血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、形成外科、麻酔科、耳鼻咽喉科

● 研修の特徴

当院は33診療科を備えた総合病院で、各科の専門医・指導医が研修指導を担当します。研修を円滑に行うため、研修開始前に十分なオリエンテーションを行い、まず「病院で生き抜く術」を身につけてもらいます。4～8週を単位としたローテーション研修では、多彩な症例と高度な医療を経験できると思います。Off Jobの定期レクチャーで、初期研修で必要な知識・技能を再確認しますので、病棟業務で忙しくても是非参加してください。救急医療にも積極的に参加してもらいます。上級医の指導のもと、患者さんのfirst touch、緊急処置・手術から高度集中治療まで、存分に体験してください。年度初めに各科専門医による救急レクチャーがありますので、必ず受講して、当院の診療に密着した“生きた救急”を理解しましょう。

● 協力病院・協力施設

長岡赤十字病院、立川総合病院、厚生連上越総合病院、厚生連糸川川総合病院、厚生連佐渡総合病院、厚生連柏崎総合医療センター、魚沼基幹病院、田宮病院(精神科)、長岡西病院(緩和ケア)、厚生連小千谷総合病院(地域医療)、新潟大学医学部総合病院(精神科)、新潟県立精神医療センター(精神科)など

● 研修医の待遇 (令和2年度研修医)

1年次
○月額
基本給：350,000円
当直手当：19,800円/回
時間外手当：厚生連規程により支給
月額平均：500,000円程度
賞与なし

2年次
○月額
基本給：380,000円
当直手当：19,800円/回
時間外手当：厚生連規程により支給
月額平均：570,000円程度
賞与なし

2年間20万円まで個人研究費があります。

● 勤務体制

勤務時間：月～金 8:30～17:00
ただし、受け持ち患者によっては、居残り、夜間呼び出しを余儀なくされることがあります。
日当直：日直 8:30～17:00 当直 17:00～8:30
昼間・夜間の2交代制勤務です。1年次、2年次共、週に一回程度、副直としてこれにあたります。

● 研修医当直回数 (月平均) 2.5回/月

当直時の勤務体制 (研修医以外の当直医数) 2人
(当直研修医数) 2人

外科系・内科系にそれぞれ1名ずつ配置されます。研修医1名につき上級医師1名が指導医として付きます。この他に、輪番日の夜間は夜10時までベテラン医師がシニア当直としてサポートに入ります。

● 研修医の学習環境

居室 専用の研修医室があり、個人専用の机があります。研修室内に仮眠用ベッドがあります。

図書室

開室時間：24時間利用可能
蔵書数：単行書(和書)約3,000冊 (洋書)約530冊
雑誌(和雑誌)158タイトル (洋雑誌)85タイトル
年間購読雑誌タイトル数：和雑誌103タイトル
洋雑誌32タイトル (EJ含む)

インターネット環境：院内LAN接続により各自PCよりインターネット利用可能
文献検索システム・支援ツール：医中誌Web、今日の臨床サポート(インターネット版)

2020年12月末

● 研修の宿舎の有無など

宿舎 宿舎あり。(月額5万円の補助あり)
赴任時の引越し料金は病院が負担します。県内外や荷物の多い少ないは問いません。
食事 朝・昼・夕ともに各自で用意する必要があります。院内コンビニエンスストア(営業時間7:00～20:00)・職員食堂(平日のみ)のほか、お弁当の手配も可能です。

医学生の皆様へ

長岡中央総合病院からの
メッセージ

● 当院の研修プログラムの特徴 (救急)

長岡中央の「救急研修」は麻酔科1ヶ月間と研修2年間を通して行う月3回程度の夜間・休日の日当直を合わせて3ヶ月の形式を採っています。救急車対応は勿論、walk-inを含めた幅広い初期診療を身に付けることができます。

「胸が痛い」と患者さんが受診しました。どんな病気を考えますか？胸痛をきたす疾患は多数あり、それらの疾患を鑑別するためには、どんなことに注意をして問診し、どのような診察、検査を進めればよいでしょうか？

どんな病気も疑わなければ診断できません。頭に浮かばない疾患は、それを診断する診察も検査もできないからです。そして、診断できなければ治療にも結び付かない。当院の総合診療科ではその「考え方」を学ぶことができます。実際に自分が診察して、症状からどのように考えて、どのように診断をつければよいのかを上級医と一緒に悩み、考えてもらいます。研修1年目からその「考え方」を身につけられることは、その先どの科に進んだとしても必ず役に立ちます。ぜひ、自分で診断をつけて患者さんが良くなって帰る喜びを知ってください。

病院長 富所 隆

● 研修医症例検討会について

週1回夕方から“研修医による研修医中心の症例検討会”(1回2症例)を行っています。研修医が経験した救急外来、総合診療外来、入院患者の症例の中から、勉強になった症例、診断に難渋した症例などを出し合い、研修医全員で共有することを目的としています。堅苦しい雰囲気ではなく、お菓子片手に上級医・指導医と討論し、意見を交換し合っています。ここで得たものは実際の診療、治療の現場で役立っています。研修医は皆同じように悩み、疑問を抱きながら診療・治療にあたっているのです。経験や知識を共有することでより成長していけるのではないかと思います。

(2年目研修医より)

